

興南BIC、5連覇

県一般ハンドボール

ハンドボールの第55回県一般選手権最終日は16日、八重瀬町の具志頭体育館で行われ、1部の男子決勝は興南BICが延長の末、丸松建設を36-34で破り、コロナ禍で中止となった2020年大会を除いて5連覇を達成した。女子

決勝は、宜野湾ガスクラブがレキオクラブを21-17で下し、2連覇した。
男女1部の優勝・準優勝チームは、5月に大分県で開催される九州一般選手権の出場権を得た。
女子2部決勝は当該チームにコロナ陽性が出たため、不成立となった。

興南BIC 36 (12-16) 34 丸松建設
延長 4-1

▽2部決勝
那覇西ク 25 (13-11) 18 エレメンツ

【女子】
▽1部決勝
宜野湾ガス 21 (11-8) 17 レキオク

【男子】
▽1部決勝

延長後半 慌てずに逆転

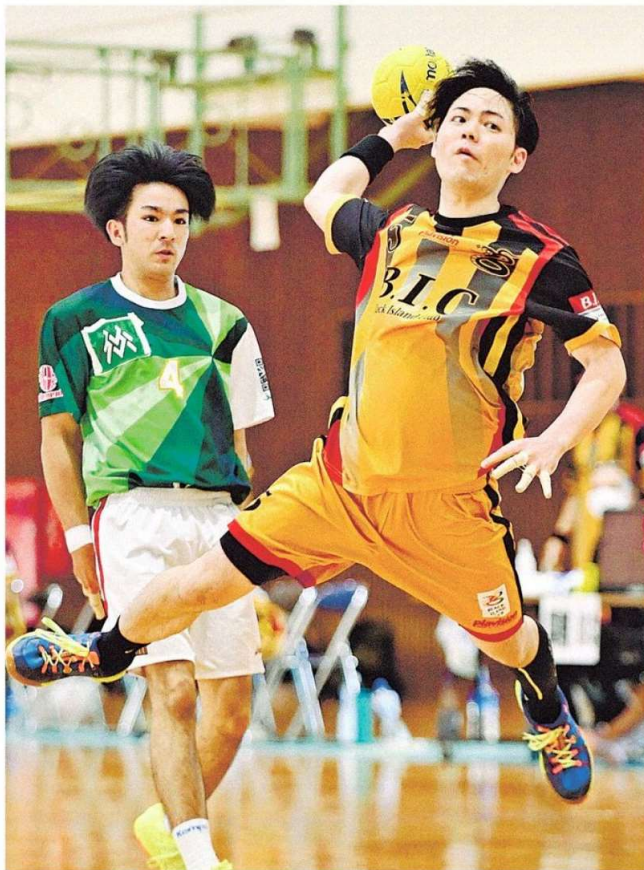
ハイライト

1点リードで勝利まであと数秒。だが興南BICはディフェンスの間から相手に決められ、30-30と追い付かれた。延長戦に突入したが、西原聖監督は「いくつも修羅場を経験している選手たち。慌てることはなかった」と動じなかった。

延長前半にも相手のサイドからの攻撃で失点したものの後半、投入されたセンター下地利輝が起用に応えた。左サイドから鋭く相手DF陣の間にカットインし、33-33の同点にすると、相手のパスミスを見逃さず攻撃につなげて逆転し、さらに突き放すゴールと4得点した。

「みんなが守ってくれた分、自分が決めようと思った。相手守備に潜り込んで、キーパーと一対一の形をつくれた」と振り返る。

試合前半に4点リードを許したが後半に守備を立て直し、さらに延長で競り勝って5連覇をつかんだ。宮城護主将は「先輩たちが築いた歴史があり、負けられない。素直にうれしい」と勝利を喜んだ。(内間健)



男子決勝 興南BIC-丸松建設 延長後半、興南BICの下地利輝が35点目のシュートを決める＝八重瀬町・具志頭社会体育館 (小宮健撮影)



男子5連覇した興南BIC

宜野湾ガスV2 速攻生かし後半一気

昨年と同じカードとなった女子決勝。実業団でプレー経験のある宜野湾ガスクラブのエース當真貴和子は「相手の戻りが速い。昨年よりマークが厚いな」と感じた。チームも「守って速攻」の持ち味を發揮できず、競った展開となった。
前後半のハーフタイムで、仲宗根由香利監督は「自分たちのプレーを」と確認。16-16の後半19分、當真が速攻を絡めて勝

ち越しとなる17点目、18点目と連続得点し、一気に流れを手練り寄せた。最後は落ち着いて21点目のループシュートを放ち、締めくくった。

當真は「九州も制覇したい」と意欲を示したが、仲宗根監督はチームを「スロースターター」と反省。後半の勢いに手応えは感じたものの、速攻の起点となるディフェンスの強化を課題に挙げた。



和子が11点目のシュートを放つ

